

2015 年度学習院大学史学会例会

「特別展 始皇帝と大兵馬俑」の講演と見学会

◆開催要項

「特別展 始皇帝と大兵馬俑」の講演と見学会

11 月 7 日（土）（学習院大学学生と史学会会員は無料・予約不要／非会員は要予約）

第一部・第二部のみの参加も可能

・第一部 講演会（13:00~14:30）

鶴間和幸氏（学習院大学教授）

於 学習院大学中央教育研究棟 303 教室

・第二部 見学会（15:30~17:00）

於 東京国立博物館 平成館

◆例会報告（文責：莊卓燐）

今年度の史学会例会では上記のように銘打ち、11/7（土）に鶴間和幸教授による講演とその後
の博物館見学（於：東京国立博物館 平成館）を行いました。

第一部 講演会

第一部では第二部の見学会の事前学習として、鶴間先生に兵馬俑をはじめとする始皇帝
陵の出土品の紹介と、この度の出展品に関する歴史的背景とその意義について紹介してい
ただきました。始皇帝という人物はどのような生を送り、如何なる思惑で自己の死後を考

えたのか、中国史上最初の皇帝は如何に人間らしかったのかをお話ししていただきました。出展品に関しては、一般では立派な外観に感動した余り気付かない部品の細かいところや、それが実際の生活ではどのような役割を持っていたのかを説明してくださいました。また、兵馬俑それぞれの体格の相違にはどのような意図が含まれていたのかを、図像を用いながら解説してくださいました。参加していただいた方々のなかには、第二部の見学会が待ち遠しくなった方も見受けられました。



第二部 見学会

見学会

東京国立博物館平成館 「特別展 始皇帝と大兵馬俑」

第二部では実際に東京国立博物館で「特別展 始皇帝と大兵馬俑」を見学しました。第一部の講演を聞き改めて展示品を見ると、雨天に適した二重滑り止めの草履など優良な装備は勿論、腰の力を十分に生かした弓兵、馬力を最大に温存させた騎馬兵などから、始皇帝の軍勢が向かうところ敵なしであった理由が伝わってきました。

本例会を開催するにあたり、ご協力をいただきました鶴間先生及び例会関係者、参加者の皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。